

財団法人 日本サッカー協会  
平成 22 年度 第 3 回理事会

追認事項

1. 国連エイズ合同計画 HIV 母子感染予防キャンペーンの件

国連エイズ合同計画 (UNAIDS) は、2010 FIFA ワールドカップ 南アフリカ大会から 2014 FIFA ワールドカップ ブラジル大会迄の間、「ソウェトからリオデジャネイロまで、赤ちゃんを HIV 感染から守るためエイズにレッドカードを」というスローガンのもと、HIV 母子感染予防キャンペーンを実施しており、2010 FIFA ワールドカップ 南アフリカ大会に参加した 32 代表チームのキャプテンに対し、このキャンペーンへの賛同を呼び掛けている。

本協会では、2010 FIFA ワールドカップ 南アフリカ大会の日本代表チームキャプテンである川口 能活選手に打診したところ、このキャンペーンに賛同する意思があるとの回答であった。

については、本協会として、川口選手が賛同するにあたり、「2010 FIFA ワールドカップ 南アフリカの日本代表チームキャプテン」という称号を使用することを承認した。

尚、賛同するにあたり、UNAIDS は代表チームのキャプテンに以下を求めている。

- ・キャンペーンに賛同する旨の定型書状に署名する。
- ・パンフレット作成用に写真を提供する。

UNAIDS からの情報によると、7 月 13 日現在このキャンペーンに賛同しているのは、26 代表チームのキャプテンである。

2. 2010 年サッカー競技規則改正の件

(追認) 資料 No. 1

2010 年のサッカー競技規則改正は別紙のとおり。